

表22 2016年末わが国の慢性透析療法の現況（所在県別）長野県

透析施設の現況（施設調査票より）	
対象施設数	73
回収施設数	72
ベッドサイドコンソール台数	2,150
同時透析	2,122
最大収容	6,566

透析従事者数（施設調査票より）							
	医師	看護師	臨床工学技士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	64	560	219	15	10	121	989
兼務	152	103	191	65	48	44	603
合計	216	663	410	80	58	165	1,592

透析患者数（施設調査票より）							
治療方法		通院		入院		合計	
治療 方法 単独	血液透析（HD）	3,195	(65.1)	265	(75.7)	3,460	(65.8)
	血液透析濾過（HDF）	1,588	(32.3)	73	(20.9)	1,661	(31.6)
	血液濾過（HF）	1	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.0)
	血液吸着透析	12	(0.2)	0	(0.0)	12	(0.2)
	在宅血液透析	12	(0.2)	0	(0.0)	12	(0.2)
	腹膜透析（PD）	81	(1.6)	10	(2.9)	91	(1.7)
HD(F), PDの 併用	週1回のHD(F)等との併用	16	(0.3)	1	(0.3)	17	(0.3)
	週2回のHD(F)等との併用	5	(0.1)	0	(0.0)	5	(0.1)
	週3回のHD(F)等との併用	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	上記以外の併用	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
2016年末透析患者総数						5,260	(100.0)

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

人口100万対比	2,519.2
----------	---------

2016年末透析患者のうち、夜間透析患者数	569
-----------------------	-----

2016年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	602
2016年PDで新規に透析導入した患者数	28
2016年 新規導入患者総数	630

2016年 透析患者死亡数	537
---------------	-----

(C)Japanese Society Dialysis Therapy

2016年末調査

透析歴別患者数（患者調査票より）										
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計	
2年未満	743	(21.5)	355	(20.8)	1,098	(21.3)			1,098	(21.3)
2年～	872	(25.3)	392	(23.0)	1,264	(24.5)			1,264	(24.5)
5年～	927	(26.8)	429	(25.2)	1,356	(26.3)			1,356	(26.3)
10年～	441	(12.8)	227	(13.3)	668	(13.0)			668	(13.0)
15年～	220	(6.4)	131	(7.7)	351	(6.8)			351	(6.8)
20年～	116	(3.4)	87	(5.1)	203	(3.9)			203	(3.9)
25年～	59	(1.7)	37	(2.2)	96	(1.9)			96	(1.9)
30年～	43	(1.2)	30	(1.8)	73	(1.4)			73	(1.4)
35年～	23	(0.7)	17	(1.0)	40	(0.8)			40	(0.8)
40年～	9	(0.3)			9	(0.2)			9	(0.2)
合計	3,453	(100.0)	1,705	(100.0)	5,158	(100.0)			5,158	(100.0)
不明	9		2		11				11	
記載なし										
総計	3,462		1,707		5,169				5,169	
平均	7.16		7.98		7.43				7.43	
標準偏差	7.38		7.94		7.58				7.58	

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

最長透析歴（患者調査表より）	
最長透析歴	45年 6ヶ月